

釜石発

健康と豊作を祈って

小正月を前に釜石のかまいしこども園の子どもたちが復興住宅の住民たちとミズキ団子を作りました。ミズキ団子は一年の健康と豊作を祈る小正月の伝統行事です。子どもたちは手ほどきを受けながら、きれいに色づけした団子を丸めてミズキの木に上手に差し込み、交流を楽しんでいました。完成したミズキ団子は復興住宅に飾られます。(1/10 ニュースエコー)



宮古発

「春いちばん」初出荷

宮古市の重茂地区で、特産の早採りワカメ「春いちばん」の出荷が始まりました。「春いちばん」は新芽の状態で刈り取ったワカメで、茎ごと食べられる柔らかな触感が人気です。関係者がテープカットをして出荷の開始を祝ったあと、ワカメのしゃぶしゃぶも振る舞われました。出荷は来月 15 日まで行われる予定です。(1/11 ニュースエコー)



山田発

大槌—山田南が開通

三陸沿岸道路の大槌インターチェンジと山田南インターチェンジの間、8 キロが開通しました。式典には関係者 250 人が出席し、達増知事は「三陸沿岸地域の復興を力強く後押しする」とあいさつしました。このあと開通を祝うパレードも行われました。この開通で三陸沿岸道路は宮古と大槌の間、およそ 35 キロがつながったこととなります。(1/12 ニュース)



大船渡発

決意新たに元服式



成人の日のこの日、大船渡市赤崎町では江戸時代から続く伝統の元服式が行われ、15歳となる中学3年生8人が式に臨みました。式では親孝行などの心構えを説く「嘉永四年の定(さだめ)」が読み上げられ、全員が誓約書に母印を押しました。このあとジュースの契の杯を受けて大人の仲間入りした中学生たちは、それぞれの目標に向けて決意を新たにしていました。(1/14 ニュースエコー)

釜石発

復興スタジアムで訓練



ラグビーW杯会場の釜石市の鶴住居復興スタジアムで国際的なテロを想定した大がかりな対策訓練が行われました。テロ組織が猛毒のサリンが入った袋をドローンで観客席に落としたという想定で行われ、防護服を着た警察や消防が救護の手順などを確認しました。関係機関は本番に向けて安全の確保に万全を期すことにしています。(1/15 ニュースエコー)

大船渡発

「泣ぐわらしいねえがー」



去年、ユネスコの無形文化遺産に登録された大船渡市三陸町の吉浜地区の小正月行事「スネカ」が15日、行われました。恐ろしい形相の面を付けたスネカが家々をまわり、「悪い子はいないか」とすごむと子どもたちは悲鳴を上げ、いい子になることを誓っていました。(1/16 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
 詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
 IBC復興支援室事務局 019-623-3122